

theme: formalのサンプル

サンプルテキスト

氏名
所属
会社

2025-11-25

本sampleの設定

ヘッダーは以下の通りとし、タイトルページの前段に `<style>` でロゴを指定。

```
---
marp: true
theme: formal
header: formal-sample-header
footer: formal-sample-footer
paginate: true
---
<style>
:root {
  /* プレゼンファイルからの相対パスで指定 */
  --logo-image: url('../logo.png');
}
</style>
<!-- _class: title -->
# theme: formalのサンプル
## サンプルテキスト
...
```

`sample.md` を処理して `sample.pdf` として配置しました。

使い方

Marp for vscodeの設定

- Marpのthemeに追加します。
 - Markdown > Marp: Themes に
`https://raw.githubusercontent.com/hogehuga/vulnRespStudyGroup/refs/heads/master/marp-themes/formal/formal.css` を追加するだけ

ファイル配置

- ロゴを置く場合は、対象の `.md` ファイルと同じ階層にロゴ画像を置いてください。

スライドの種類 (レイアウト)

状況に合わせて以下のクラスを使い分けてください。

用途	class
タイトルスライド	title
セクション区切り/扉	lead
通常スライド	(指定なし)
反転カラー	invert
本文小さい文字	small

所要時間5分(セクション所要時間など)

[lead]章などの見出し利用

leadは、章のタイトルなどを入れて使うものです

- 1: 初めに
- **2: 章などの見出し利用**
- 3: このように、章タイトルを入れておくと参加者がわかりやすい
-

class指定のないコンテンツ

概要

は、このようにスライド内でのまとめに使います。

要点1

は上記 ## のサブカテゴリ的に使う想定です。

Class: small

`small` は、通常のスライドより文字数が多くなるものに利用します。
h1-h3等は、通常のスライドと同じ動作をします。

classの組み合わせ

tlp指定は、smallやinvertと組み合わせることができます。スペースで区切ってください。

但し、small/invert/lead/title の組み合わせは確認していません。

```
---  
<!-- _class: invert tlp-red -->    <===このこと
```

classの組み合わせ

tlp指定は、smallやinvertと組み合わせることができます。スペースで区切ってください。
但し、small/invert/lead/title の組み合わせは確認していません。

```
---
```


以上

今後、close用のclassを拡張するかもしれません。